

IRIS CLUB Information for our members

KŌEKISHA アイリスクラブ事務局



0120-333-838

〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地 株式会社公益社

<http://www.shiga-koekisha.co.jp>

日本には昔から独特の色の呼び方がありました。vol.42のカラーは、三原色また基本色のひとつである「緑色・翠色」です。上代から乳幼児を「みどりこ」といったように、生まれたばかりの新しいものを「みどり」と称しました。

RE
DISCOVER
NIPPON

ニッポン再発見 ③ 和算と算額

鶴亀算、ねずみ算、旅人算……など言葉は聞いたことがあるだろう。子どもの頃の記憶の片隅に悪戦苦闘した思い出が残っている人もいるかもしれない。

江戸時代の数学は世界でもトップレベルであった。多元高次方程式（ホーナーの解法）、行列式、ニュートンの近似解法、ベルヌーイ数の発見、パップス＝ギュルダンの定理といった高度な数学の体系を確立し、天文、暦学等の分野においても高い業績を残しているという。江

戸時代、日本独自に栄えた数学を現在「和算」と呼ぶ。

そして、当時の数学者（和算家）や一般の数学愛好家たちが、額や絵馬に数学の問題や解法を記して神社やお寺に奉納したものを「算額」という。問題が解けたことを神仏に感謝し、勉強に励むことを祈願して奉納されたい。

明治時代になると、西洋式数学が導入されたが、算額奉納の習慣は昭和初年頃まで継承されていた。全国に遺る算額は、約1000面といわ

海津天神社へのアクセス

滋賀県高島市マキノ町海津 1253

■JR湖西線「マキノ」駅下車／徒歩15分またはバス5分「海津」下車 徒歩1分

■駐車場有

お問い合わせ／海津天神社 tel.0740-28-0051

れている。滋賀県の算額は9面が知られ、そのひとつが高島市マキノ町の海津天神社にある。明治8年(1875)1月平山麟家門人が奉納した算額で縦約90.8cm×縦約577cmと立派なものである。

この算額……、未発見のものも多いのではないかと考えている。旅に出た時、寺社仏閣を巡ったならば、ちょっと算額探しをしてみるのもいいだろう……。

文・写真 北原元気



早朝、その日店で使う鰻を生きたまま氷水でしめてから割く。「うなぎや源内」は、関西らしく腹から割いて内臓と背骨を取り、備長炭を用いて、表面はかりっと中はふっくら柔らかかに焼き上げる。この時、焼き加減を見極めるのが決め手だ。蒲焼きのタレは丸大豆とたまり醤油をベースに継ぎ足して、旨味のある濃厚な味を保っている。このタレの味を守るのも、「うなぎや源内」の大切な技のひとつである。

協力 うなぎや源内(国産鰻を使用)
彦根市本町二丁目1-6 tel.0749-27-5025
<http://www.ayukimura.co.jp/>



伝授

老舗の手技

これからの葬祭業に求められる『人財』を育てる。

21歳の時でした。父が仕事で倒れ、心不全で急逝。

あれから30年の歳月が過ぎようというのに、駆けつけ無言の対面をした瞬間から、3日間の記憶が私にはありません。遺族として葬儀を行ったはずなのに…。ショック状態から記憶を失ってしまったのでしょ。私が、葬祭業に特化した『人材育成』の道を選んだ理由がここにあります。どのように心を尽くしても“悲しみに寄り添うおもてなし”にOKはない！現在、全国の葬儀社を駆けまわる毎日ですが、葬祭業は究極のサービス業だと確信しています。

昨今、葬儀の形態が大きく変化する中、人材育成に注力する葬儀社が増えています。遺族や参列者の高齢化、核家族化、葬送のカタチが変



事前相談の勉強会

化(「会館葬」「家族葬」等)し、葬儀社のサービスに対するご要望が多様化しました。お客様に合わせたサービスを臨機応変に提供できる人材(=人財)が求められています。葬儀のプロとしての知識や技能を備えた上に“ひとりの人間”として“人”を想う心を養い、実践できる力が必要なのです。

「宜しければ、私の数珠をお持ち下さいませ。」マイクロバスの中で、数珠を忘れたと言われる参列者にそっと両手で差し出す運転手。控室でぐずっている小さなお子様に気づき、お絵かきセットを買いに走り「どうぞ!」と、膝について微笑む女性社員。これは、サービス業である葬儀社として、当たり前な光景なのかもしれません。しかし、公益社の『人材育成』に携わり社員を四六時中追いかける私にとって、彼らが未熟であっても…目頭が熱くなる瞬間なのです。

公益社の社員ひとりひとりが品質を高め、地域の皆様に必要とされる人財になる為、様々なトレーニングを早朝から自主的に集い、日夜取り組んでいます。おかげさまで、「やっぱり公益社に任せて良かったわ!」というお声をいただけるようにな



基本マナーの研修

りました。しかし、この評価をいただいた瞬間が新たな挑戦の始まりでもあるのです。ご遺族の想いに寄り添い、声にならない声を察知する!『相手の立場に立つ』心配りをさせていただく!公益社の社員は今、本気で実践できる“自分作り”に挑んでいます。私も葬儀においての指導だけでなく、お客様の声を直に伺い(アイスクラブのバスツアーにも同行させていただきました)、気づきを即、改善、行動に繋がるよう更に厳しく指導して参ります。

人材能力開発顧問
つづろゆうこ

人材育成インストラクター/
NPO日本交流分析協会インストラクター/
NPO日本話しことば協会講師

社内研修 — 伝統 —

葬祭の専門スタッフとしてみなさまに安心と信頼をお約束するため、継続的に様々な勉強会を実施しています。

仏式のご葬儀でも地域により風習や習慣など違いがあり、古くから守られてきた伝統を継承していくのも私たちの大切な役割でもあります。地域独特の伝統や慣習に対する深い知識と豊富な経験のある社員自らが講師となって行っています。

時代の流れとともに葬儀スタイルの変化がある中でも、地元企業として地域に根ざした宗教的な知識を備え、社員ひとり一人が葬祭のプロフェッショナルであることが信頼につながると考えます。葬儀本来の意義をしっかりと踏まえ、様々なご要望にお応えするよう、さらに努力を重ねています。



伝統的な装飾を施した宮型霊柩車

近年、宮型霊柩車は街中では見かけることが少なくなってきました。宮型には、亡くなられた方の最期を豪華に、そして立派に送ってあげたいというご親族の願いが込められていました。輿(こし)から発展した伝統的な霊柩車は、細部まで妥協なく彫り込まれた見事な彫刻や高級なベース車の架装に伴う補強もすべて職人の手作業によるもので、日本の儀礼文化そのものであり、日本らしさの象徴でした。現在では、葬祭形式も多様化し、装飾がシンプルな洋型霊柩車が多くなってきています。



さまざまな日本特有の伝統文化が消えさる中、公益社では葬祭文化としての基本を継承しながら、昔ながらの金の派手なものではなく、現代に即した落ち着いた白金で車体の色地に調和した上品な宮型霊柩車を導入いたしました。

アンケートから改善いたしました。

公益社ではお葬式をされた喪家様にアンケートのご協力をお願いしております。いただいた貴重なご意見から改善への取り組みをご紹介します。

● お料理に対するご意見

■ にぎりの桶と巻き桶を置く場所に困った。→ にぎりと巻きのミックスすし桶を作りました。

■ オードブルは揚げ物が多く年配の方には不評でした。→ 素朴な和風オードブルを取り入れました。

● 設備に関するご意見

■ 夜中に換気扇の音が気になった。→ 即手配し修繕しました。設備点検は定期的に実施していますが、今まで以上に日々注意を払うようにいたします。

● 供花に対するご意見

すぐに悪くなった花がありました。→ すべて新しいお花でご用意させていただきますが、ホール内冷暖房と外気との温度差があったり、水揚げの悪いお花があったと考えられます。こまめなチェックで元気のない花はすぐに交換します。

感謝のお言葉や称賛意見を励みに、ご指摘を真摯に受け止め、日々改善に努めています。

公益会館 改善 — 小さな事からはじめています —

お客様によりいっそう心地よく過ごしていただくためのホールスタッフの小さな気づきです。

ご親族様のお控室のお風呂には少しでもお疲れをいやしていただけるよう入浴剤を、お手洗いにはアメニティグッズの充実、小さなお子様には絵本やおもちゃのほか塗り絵セットを用意したり、スタッフで気づいたことをカタチに変え小さな改善を積み重ねています。

どうぞお気軽にみなさまのご要望もお聞かせくださいませ。



▲お手洗いに用意しました。

▼塗り絵セット



「ぼくの専門は、内科医でも小児科医でもなく永源寺。
こんな不思議なことをいう医師がいる。
花戸貴司先生。

東近江市の奥、永源寺の小さな診療所で、看護師やヘルパー、患者とその家族、それに地域の人々皆と協力し合って、在宅医療・訪問診療に情熱を注ぐ。

「地域全体がホスピタル。患者のベッドはそれぞれの家、町の道路は病院の廊下、携帯電話がナースコール」。先生はそのように考えている。だから「専門は永源寺」なのだ。

在宅医療・訪問診療を突き詰めると、最終的には「在宅看取り」に行き着く。住み慣れた我が家で最期を迎える。その願いを、できる限り叶える。そのために、先生は奔走する。

その様子を、特にその「在宅看取り」の現場を追いかけ、取材して、四冊の写真絵本を出版した人がいる。

写真家の國森康弘さん。

四冊シリーズのタイトルは『いのちつぐ「みとりびと」』。

ひ孫がおおばあちゃんの、娘が母の、妻が夫の、親族や近所の人々が、最期の時を迎えようとする人の枕元に寄り添い、集い、その死を「看取る」。その様子は厳かに切なく、しかしとても清々しい。そこには時に笑顔さえある。

それにしても「看取り」とは不思議な言葉である。

残される側からすれば、死は、愛する人を失うことだ。奪い取られることだ。それは何かを「受け取る」ことではないはずである。だが、人は人を「看取る」。では、何を？

たぶん、死にゆく側からすれば、愛する他者に自らの「死」を受け取ってもらうのだ。

人は「死ぬような目」に遭うことや「瀕死の状態」を経験することはできても、「自分が死んだ状態」を自分で経験することはできない。「自分の死」は、自分ではない誰かに見届けてもらい、経験してもらうしかない。

人は最後まで、自分の死でさえも、他者と分かち合う存在である。他者なしに人は「自分の死を死に切る」ことができない。

國森さんは戦場カメラマンでもある。昨年来、東北にも通っている。そして戦場には、被災地には「看取り」はないという。

そこには「看取られないままの死」が溢れている。いや、そこには「無数の死」があるのではなく、「自分の死を死に切ることができないままの無数の人とその家族」がいる。それは死そのものより悲痛なことだ。

「死が二人を分かちまで」という言葉がある。まさにそれまで夫婦で生きて、そしてどちらかの「死を二人で分かち」、あるいは家族とたしかに分かち合えるなら、悲しいが、やがてそこには幸いがある。「看取り」とは、そういうことなのかもしれない。

引用文献：國森康弘「写真絵本シリーズ いのちつぐ「みとりびと」(全4巻)』農文協、2012年

Irisclub Activity report 1

人形供養祭・葬祭セミナーを開催いたしました

3月25日(日)八日市公益会館において人形供養祭・葬祭セミナーを開催いたしました。



前日までの雨もあがり、少し肌寒い中ではありましたが、それぞれのご家庭からお持ちいただいた予想を超える約15,000体のお人形が供養祭壇に安置されました。

何年も何十年も、子供のころから成長を共にし、可愛がられていたお人形やぬいぐるみ。ご家族の思い出がいっぱい詰まった大切なお人形を、浄土宗名寺様の読経の中、真心込めて丁寧にお供養させていただきました。みなさまがこれほど「お人形」に、愛着と感謝の気持ちを持っておられた事を、あらためて感じた次第です。

また、大阪からお招きした講師の戌亥 正三郎先生による「これだけは知っておきたいお葬式の知識」と題したセミナー。最近よく耳にする家族葬のことや人とのつながりなどのお話に参加されたみなさまは興味深く聞き入っておられました。

同時に開催したお花の即売会などにもたくさんの方で賑わい、短い時間でしたが充実したひと時を過ごすことができました。

尚、当日お供えいただきましたご芳志は、全額を当社が支援しております震災孤児支援団体への支援金として寄付させていただきますことご報告申し上げます。

Irisclub Activity report 2

楽楽講座を開催いたしました ～手編みストラップづくり～



4/13 ひこね市文化プラザ
4/27 八日市商工会議所
5/11 近江八幡文化会館

手編みストラップづくりをお寺の住職から教わりました。

高価な正絹(絹100%)の念珠用の糸を使い豪華ストラップを手編みで作りました。四つ編みを細糸と太糸で締めつけながら、整然に組編みができているか確認し、しっかり編んでいきます。

念珠玉で飾りをつけ緩みなく硬く編んでいくのに苦労しながらも出来上がった作品にみなさん満足いただき楽しいひと時を過ごしました。

今回教わった組糸はいろいろな飾りに使えるので「高度な技術の習得ができた」と貴重な体験の講座となりました。

虹

アイリスクラブ 提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

会員特典

宿泊料金から10%割引



JR彦根駅西口から徒歩約3分、彦根城まで徒歩約10分とビジネスや観光の宿泊拠点としてアクセス抜群のホテル。お食事は会席料理・フランス料理からお手軽なランチまで各種取り揃えてお待ちしております。

グランドデュークホテル

〒522-0075 彦根市佐和町11-36

tel.0749-24-1112

新規提携店

会員特典

お食事いただいた方全員に ワンドリンクサービス



ダイニング&バー SLOWは、気軽なランチから本格イタリア料理まで、ゆったりとした時間の流れを美味しい食事とお酒で気軽に楽しんでいただけます。また、大人数向け二次会プランもご用意しております。

ダイニング&バー SLOW

〒522-0043 彦根市小泉町34-11

tel.0749-23-4600

新規提携店

会員特典

ご来店のお食事代から5%割引



カルビ屋大福八日市店は、ご家族でお食事をお楽しみいただけるアットホームな雰囲気焼肉店です。お子様向けメニューも充実。小学生以下のお子様でご入会いただくソフトドリンクが無料となるキッズクラブも好評です。

カルビ屋大福 八日市店

〒527-0013 東近江市東中野町303

tel.0748-20-1717



公益社のエコ活動

環境に対しての取り組みの一つに、全社員での地域清掃活動を実施しています。



EMS71576/ISO14001:2004
環境マネジメントシステム

田の浦ほたてあかりプロジェクトに協力



東日本大震災復興支援商品のひとつ「ほたてあかり」は、宮城県南三陸町田の浦ほたての貝殻と、滋賀県のお寺から回収した和ローソクの残燭から出来たエコキャンドルです。田の浦のお母さんたちが、ひとつひとつ丁寧に作っておられます。公益社ではひこねキャンドルナイトに和ローソクの協力をさせていただいています。和ローソクは使用頻度が少ないのですが、「ほたてあかりプロジェクト」にも協力させていただくことにしました。

<http://hotateakari.blog.fc2.com/>

動物供養塔建立

金毘羅宮 慈眼寺



動物供養塔

金毘羅宮 慈眼寺 住持 花井和久
彦根市野田山町291 / tel.0749-22-2273

この度、金毘羅宮慈眼寺様におかれまして、動物供養塔を建立されました。

長年、家族の一員として過ごされてきたペットの安らぎの場としてご利用いただけます。ご家族立ち合いの納骨法要、毎年お盆には合同慰霊法要をしていただけます。いただいたお便りのなかでもペットのお葬式についてのご相談も寄せられています。お問い合わせ、お申し込みは慈眼寺様まで。

アイリスクラブ 2012年12月31日まで 10周年記念ご紹介キャンペーン

「アイリスクラブ」をお友達にご紹介ください。お友達がご入会くださいました際にはご紹介者様・ご入会者様ともに

JCBギフト券 プレゼント!!

お申し込み方法

- アイリスクラブ事務局までお電話ください。(TEL0120-333-838)
- お近くの公益社・公益会館でもお手続きいただけます。

アイリス
ゴールド会員 **3,000** 円分の商品券

アイリス
シルバー会員 **1,000** 円分の商品券

を差上げます。

The 10th anniversary

ご愛読者プレゼント

会員みなさまに10年分の感謝の気持ちを込めて

抽選で各**10**名様に

同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。応募締切 平成 24年6月20日(水) 必着

★当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。



ハイビスカスの鉢植え
夏には鮮やかな花をたくさん咲かせます。咲き終わった花はこまめに摘みましょ。



プリフォトフレーム
とおきの写真をプリザーブドフラワーのアレンジが優雅に演出。長く楽しめます。



洋菓子三三井「彦根城」20枚入
クッキーの上にアーモンドクリームを重ねたコクのあるお菓子です。

vol.41プレゼントご当選者

「テンドロビウムの鉢植え」

- 彦根市/岡野 陸様・飛田弘子様・杉本ちづ子様・石田岩雄様・門野 薫様
- 東近江市/加藤千恵子様・川口芳男様・山本敏樹様・西澤高弘様
- 近江八幡市/谷田佳寿子様

「チュリーップの鉢植え」

- 彦根市/寺本友子様・藤堂美津子様・重森久美子様・林 満喜子様
- 東近江市/広瀬末雄様・前川文子様・小椋幸三朗様
- 近江八幡市/宮田博子様 ■多賀町/川岸初男様・大久保久宜様

「chanto 小物入れ」

- 彦根市/北村直人様・林 俊雄様・黒田英孝様・内堀民雄様・辻 義男様・松山勇進様
- 東近江市/村田美保様・居永清子様
- 近江八幡市/佐藤友紀様 ■愛荘町/栢田安広様

アイリス広場

みなさまのおたよりから

- Q 最近の葬儀の形式として家族葬はどの程度の割合なのですか？(東近江市 男性)
 - A 公益社の家族葬プラン「フィリア」でご葬儀される方は約20%です。ご親戚からの意見や故人様の生前のお付き合いなどを踏まえ、お決めになる場合が多いようです。家族葬でもいろいろなカタチがあり注意することもありますので詳しくは私どもにご相談ください。
 - Q お仏壇の扉はいつも開けていてもいいのですか？閉めたことはありません。(多賀町 男性)
 - A 仏壇の扉は、いつも仏さまに見守っていただけるよう、開けたままにされていることが多いようです。ただ部屋の掃除をするときは、仏壇の扉を閉じてほこりを避けた方がよいでしょう。
 - Q 近くに他社の葬儀屋さんがありました。公益社のメリットを教えてください。(東近江市 男性)
 - A 私ども公益社は地元企業として、地域の風習や儀礼文化をしっかりと理解し、経験や知識が備わっているスタッフが対応しております。
 - Q 町内で新年会の幹事をさせてもらいお店選びに迷いましたがアイリスクラブの提携店を利用し5%の割引もあり難くみなさんにも喜んでもらえて大変良かったです。(彦根市 女性)
 - Q ●楽楽講座に参加したいのですがスケジュールが合わなくて残念です。●平日は行けないので土・日に開催してほしい。(多数の方) 今後の企画で調整していきたいと思っております。たくさんのご意見をいただきありがとうございました。
 - Q ●新入社員奮闘記できれいな花を一生懸命挿している姿に感動しました。●新入社員のがんばりがとても初々しく感じました。●故人の特性(好きだった色とか姿)をとらえた花飾りこそ本ものと思えました。 たくさんのおたよりをいただき私たちがの方が感動しました。これを励みにこれからも一層がんばります!(生花部 音羽・新谷)
- 多くのおハガキをいただきありがとうございました。限られた紙面ゆえ、ご紹介しきれずに心苦しく思っています…
アイリスクラブ事務局 吉田

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地
TEL.0749(22)5000(代) FAX.0749(22)0042

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

0120-61-4000